



感染者の動向

累計感染者数			325,157人
累計死者数	累計回復者数	新規感染の傾向	
4,479人	221,275人	↗ (増加傾向)	
9月7日現在の数字			※出所：バングラデシュ伝染病研究所



行動・活動制限

活動制限	あり
実施主体	バングラデシュ政府、各自治体、管轄警察
具体的制限	・外出時のマスク着用、ソーシャルディスタンスの確保の徹底
日本人学校	ダッカ日本人学校は、オンラインでの授業を実施中。

ダッカ事務所長
安藤 裕二

空港再開／直行便

空港	再開
日本からの直行便	
・商業旅客便の運航は6月16日以降、英国・カタール便が再開 ・マレーシアは一部再開 ・その他の定期路線（シンガポール、タイ、香港等）の再開は未定	



日本・海外からの入国制限

日本人の入国	可 (経路は限定的)
--------	---------------

外務省渡航情報

レベル3：渡航は止めてください。
(渡航中止勧告)

制限措置・入境後の隔離措置等の概要

- ・入国時に、渡航前72時間以内に取得した「健康証明書」(COVID-19 Negative Certificate、英文)の提出が必要
- ・入国後、14日間の自己隔離が必要

※出所：バングラデシュ航空局

9月以降の感染状況に注目

9月以降、行動規制が実質解除され、移動や行動が通常化される。一方で、コロナウイルス感染状況は大幅な改善を見せておらず、自社スタッフの感染予防などに注意が必要だ。



経済活動再開の状況

経済活動制限

主要規制・制限

- ・3月26日に始まったロックダウンは6度の延長を経て5月31日から一部緩和。8月3日までは、県をまたぐ移動は引き続き制限され、公共交通機関の限定的な再開、国内線フライトの一部再開、国際線フライトの一部再開等、各種制限が部分的に解除されている。8月4日から8月31日までは、新たな行動制限を発出。
- ・9月1日からはマスク着用、ソーシャルディスタンスの保持以外の行動規制は解除された。

再開基準

- ・各種ガイドラインに沿い、行動、運営することができる

現地産業・企業の動き

- ・ほぼすべてのオフィスや事業所は営業を再開しているが、在宅勤務の導入、時差出勤・分散出勤の運営を行っている企業もある。



現地日系企業の活動状況

現地日系企業の抱える課題

操業状況

- 大部分の日系企業は操業を再開。
- 日本へ一時退避している日系企業が多く、バングラデシュへの再渡航の手段などを模索している状況。

サプライチェーン、物流への影響

- ロックダウン期間中は、チャトogram港での通関に大幅な遅れが発生していたが、現時点では通常レベルに戻っている。
- 貨物に関しては、県をまたぐ移動などの対象から外されているため、現状大きな問題は報告されていない。

現在抱える課題、懸念

- 多くの日系企業の駐在員が一時退避する状況において、コロナウイルスの感染がいまだ拡大を見せており、感染症渡航レベルが「レベル3」（渡航中止勧告）となっている。
- また、再渡航の手段が非常に限定的であり、商業定期便の定期再開の目途が見通せていない。
- 9月から行動規制が実質解除されたため、都市間の移動や公共交通機関の運営が通常化していくことが予想される。
- 一方、コロナウイルスの感染状況は大幅な改善を見せておらず、今後、スタッフのコロナウイルスの感染対策が課題になる。



注目のトピック

9月以降の行動規制が実質解除

- 8月末まで夜間外出禁止、店舗の営業時間制限などの行動規制を課していたが、9月以降は実質的に行動規制が解除された。
- 9月以降の制限項目としては、マスク着用とソーシャルディスタンスのみとなっており、移動制限などについては解除している。



ジェトロからのお知らせ

アジアにおける新型コロナウイルス対応状況

ジェトロウェブサイトにて新型コロナウイルス関連ニュース、動画によるワンポイント解説、アジア各国の企業などに対する支援策を紹介。
<https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/>

新型コロナウイルスに関するお問い合わせ

(国内)

新型コロナウイルス相談窓口

TEL : 03-3582-5651

(平日9時～12時/13時～17時 (土日、祝祭日を除く))

(海外)

最寄りのジェトロ事務所まで
お問い合わせください